

羽高現役部活紹介 第5回 吹奏楽部

「つながる 挑戦する 笑顔あふれる 羽高サウンド」を目指して

吹奏楽部にとって一大イベントである定期演奏会は、今年度で54回目を迎えます。これは、石川県の公立高校吹奏楽部でもっとも古くからの伝統があります。部員が自主的に企画・運営しており、部員達の主体性が最も発揮されます。1年生の時には見ているだけだった生徒が3年生になると、本番前の準備等でテキパキと後輩に指示しているのを見て、「成長したな」と感じる時間が、教員冥利に尽きる喜びです。



3年前(平成28年度)から、「羽咋市民合同バンド」との合同演奏を定期演奏会のプログラムで企画し、小学生から社会人まで70名ほどで演奏をしています。そのメンバーとの合同練習の中で、小・中学生に教える立場になったり、また社会人の方にアドバイスをいただいたりと、地域の方々との交流が部員を成長させてくれます。地域の方々に支えられていることに感謝し、羽咋高校吹奏楽部がコンクールでも結果を残せるように、私も全力で指導していきたいと思います。

最後になりましたが、関東同窓会の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。



素晴らしいですね
関東同窓会にも
出演して欲しい
ものです…編集部



吹奏楽部顧問

松浦倫子



母校である羽咋高校に赴任し、丸9年が経ちました。ひと昔という歳月の中で、私自身は結婚・出産という人生の節目を経験し、今や羽咋高校は私の人生そのものであるといっても過言ではないと思います。

さて、本校吹奏楽部は、人数は減っているものの、学校行事や様々な演奏会、コンクールなどを目標に自分達の演奏を磨き、どうしたら聴いて下さる方々に喜んでもらえるのかを考え、毎年新たな気持ちで工夫を凝らして活動しています。そして「吹奏楽部の演奏が良かったよ」と声をかけてもらった時は本当にうれしく、部員と喜びを分かち合います。

とはいえ、吹奏楽部は運動部と同様、厳しい一面もあります。毎日の練習と学習の両立や、人間関係にギクシャクして悩むこともしばしば。部内での課題は一難去ってまた一難、常にあります(笑)。しかし、最近になって、その苦闘の日々はかけがえない大切な時間なのだとわかりました。このリアルな体験こそ部活動をする意義であり、人の気持ちを知り、人としてたくましく生きる力を育む絶好の機会なのです。



羽咋～関西で学び
関東で役所務め

いま 羽咋との絆を紡ぐ

紙谷 衛 高26 羽咋・吉崎

羽咋市吉崎町で生まれ、羽咋高校卒業まで羽咋で暮らしました。大学は大阪市立大学、就職は東京・足立区役所です。3年前に定年退職を迎え、その後3年間はフルタイム再任用(現役時代と同様の勤務時間)として働き今年の4月からは短時間再任用(週に24時間勤務)として監査事務局で担当課長として働いております。

同窓会には昨年初めて参加させていただきました。現役を終え、ホット一息でき心に少しゆとりが生まれたこと、同窓会の皆さんと羽咋の思い出を共有できること、新たなネットワークを築きたいと思ったことが参加のきっかけでした。

懇親会では、多少緊張感があったもののすぐに時間が当時に戻り、和気あいあい有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

石川県や羽咋は観光による地域の発展を目指していることと思いますが、自然、歴史・伝統、人情、のどかさは立派な資源だと思います。

羽咋高校同窓会のますますの発展を祈念しております。これからもよろしく願い致します。



小樽にて

関東にお住まいの

羽咋中学校・羽咋高等女学校・県立羽咋高等学校を卒業された方をご存知の方は、是非 関東同窓会へご紹介くださいませ。 編集部

会員ネットワーク

近況報告をして頂き、次の人にリレーすることで、会いたい人 知りたい友の消息 など 会員の交流促進に役立てたいと思います。



「羽咋は能登半島の入口…」

宝田 良生 高16 羽咋・吉崎

私は、山陰の国立大学農学部を卒業し、J A全農で約40年全国的に転勤をしながら、主に農業生産資材畑の仕事をしてきました。

退職後、都立多摩職業能力開発センターで6カ月学び、卒業後二級造園技能士資格を取得し、市内一般家庭の植木剪定作業をやってきました。

6年前に学生時代の親友に頼まれ、都内のカトリック修道院の庭番を今日までやっています。院内は約三町歩あり、一般的には見られないレバノンスギ西洋松、美マラヤスギ等の高木もあり、「男の隠れ家」楽しい日々です。更に七尾出身の先輩宅や他の家庭の剪定もあり、年間約200日、古希を過ぎた現在も何とかマイペースで元気でやっており、同窓・同郷・友人・知人には感謝感謝です。

郷里への思いもあり、羽高同窓会、ふるさと関東羽咋会には極力参加し、最近の動向を聞いています。

同窓の皆さん、在校生のご活躍をお祈り申し上げます。



古國能登に生い立ち：
あぁ新しき日本（羽咋）
と我等は在らむとこしえに！
(校歌より)